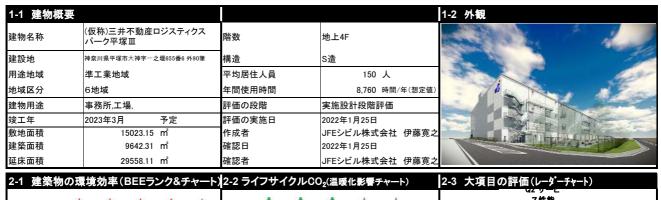
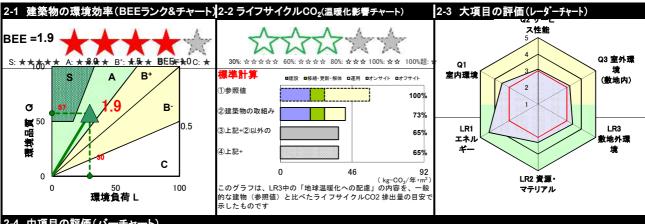
## **( / S | B | E | - 建築(新築)** ▮評価結果▮





## 2-4 中項目の評価(パーチャート) Q のスコア= Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.2 Q1のスコア= 3.5 Q2のスコア= 3.1 4.1 4.0 3.0 2.9 2 2.5 2 音環境 温熱環境 空気質環境 光·視環境 機能性 耐用性 対応性 まちなみ 地域性·



		その他
		特になし
VOCへの配慮、自然換気面積を保つことにより良好な空気 環境を保つ計画とする。 建物外皮の熱負荷を抑え、優れた外皮性能を達成する。	Q2 サービス性能 更新必要間隔の優れた建材を使用し、建物の長寿命化を図る。 将来の用途変更に対する空間の自由度に余裕を持たせる設計とする。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽による良好な景観を形成する。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
高効率機器の使用および太陽光パネルの設置により、建物	節水型器具を使用し、水資源の保護を図る。 躯体から仕上げ材の分別を容易化し、解体時の資源再利用 に配慮する。	燃焼機器を用いず、温暖化を抑制する。 自転車置場、駐車場及び荷捌き用車両の駐車施設を確保し、 敷地内の導入路部分に待機パースを設けて周辺道路の渋滞緩 和対策として いる。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
  ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される